

# **第8次沖縄県医療計画（救急医療） の進捗評価について**

令和7年1月23日  
沖縄県保健医療介護部  
医療政策課

# 救急医療分野 施策・指標体系図

## 救急医療分野 施策・指標体系図

番号	C 個別施策
1	住民に対する救急蘇生法、予防救急等の普及啓発の実施
	指標 住民の救急蘇生法の受講者数
2	沖縄県メディカルコントロール協議会の活用
	指標 メディカルコントロール協議会の開催数
3	ドクターカーの効果的な活用
	指標 ドクターカーの運用方針の策定地区数
4	航空医療体制の構築
	指標 効率的な急患空輸体制の構築に係る会議の開催数
	指標 ヘリコプター等添乗医師等確保事業添乗当番病院数
	指標 救急病院のヘリポート数
5	初期救急医療体制の整備
	指標 #8000の利用件数
6	入院を要する救急医療体制の整備
	指標 二次救急医療機関の数
7	救命救急医療体制の整備
	指標 救命救急センターの数
	指標 救命救急センターの充実度評価S及びAの割合
8	精神科救急医療体制との連携
	指標 精神科救急医療体制との連絡会議の開催数
9	救急医療機関から急性期を脱した患者を適切な医療機関等に転院出来る体制の整備
	指標 退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの割合
10	地域包括ケアシステムと救急医療の連携の推進
	指標 地域包括ケアシステムの関係者との連絡会議の実施市町村数
11	居宅・介護施設の高齢者への対応及び普及啓発
	指標 居宅・介護施設の高齢者への対応に関する研修会の実施市町村数

番号	B 中間アウトカム
1	適切な病院前救護活動が可能な体制の整備
	指標 救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間の全国順位
	指標 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合
2	重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制の整備
	指標 救急病院数
3	地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割の検討
	指標 緊急入院患者における転院調整・支援の実施件数

番号	A 分野アウトカム
1	救命できる傷病者を社会復帰させている。
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の一ヶ月後の生存率
	指標 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の一ヶ月後の社会復帰率

# 救急医療分野の指標の進捗状況

分野	指標数	進捗状況				
		改善	横ばい	後退	捕捉不可	未実施
分野（最終）アウトカム	2	2				
中間アウトカム	5	3	1	1		
個別施策	14	6	7	1		
合計	21	11	8	2	0	0

## 改善した主な指標

	指標名	基準年	直近値	増減数	目標値 (R11年)	進捗率
中間	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	(R3) 68.9%	(R4) 73.3%	4.4%	73.5%	99.7%
施策	住民の救急蘇生法の受講者数	(R3) 19	(R4) 45	26	102	44.1%

## 後退した主な指標

	指標名	基準年	直近値	増減数	目標値 (R11年)	進捗率
中間	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	(R3) 24件	(R4) 19件	△5件	54件	35.2%
施策	地域包括ケアシステムの関係者との連絡会議の実施市町村数	(R4) 40市町村	(R5) 38市町村	△2市町村	41市町村	92.7%

# 1 適切な病院前救護活動が可能な体制の整備 個別施策①

## 1.住民に対する救急蘇生法、予防救急等の普及啓発の実施

指標:住民の救急蘇生法(普通・上級救命講習)の受講者数(人口1万人あたり)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
沖縄県	103	99	98	95	102	18	19	45
全国(平均値)	113	110	108	105	100	33	37	65
順位	25	26	28	25	18	42	42	18

## 2.沖縄県メディカルコントロール協議会の活用

指標:メディカルコントロール協議会の開催数

- 令和5年度は沖縄県メディカルコントロール協議会を1回開催
- MC協議会構成員は消防、医療機関、保健所及び県の関係機関等病院前救護活動にかかわる多数の機関が参加

## 3.ドクターカーの効果的な活用

指標:ドクターカーの運用方針の策定地区数

ドクターカーを運用する中部地区と南部地区で各々策定することを目標としているが、現在ドクターカー運用方針を策定している地区数は0となっている。

ドクターカー保有病院：中部徳洲会病院、中頭病院、ハートライフ病院、浦添総合病院  
沖縄協同病院、南部徳洲会病院、友愛医療センター

※令和5年度救急医療提供体制の現況調べより

# 1 適切な病院前救護活動が可能な体制の整備 個別施策②

## 4.航空医療体制の構築

指標1:効率的な急患空輸体制の構築に係る会議の開催数

令和4年度 0回 → 令和5年度 2回

指標2:ヘリコプター等添乗医師等確保事業添乗当番病院数

令和4年度 12病院 → 令和5年度 12病院

指標3:救急病院のヘリポート数

令和4年度 5病院 → 令和5年度 6病院

整備済：南部徳洲会病院、中部徳洲会病院、中頭病院、友愛医療センター、沖縄協同病院  
浦添総合病院

(参考)急患空輸の実績(平成27年度～令和5年度)

NO	搬送機関名称	年度別急患搬送実績(件)								
		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1	ドクターヘリ	417	405	479	462	384	335	304	287	376
2	自衛隊	124	150	145	146	154	136	120	141	205
3	海上保安庁	74	41	45	51	65	67	68	74	75
4	MESHサポート	214	197	3	23	21	85	187	289	300
	計	829	793	672	682	624	623	679	791	956

# 1 適切な病院前救護活動が可能な体制の整備 中間アウトカム①

## 指標 1：救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間の全国順位

救急要請から救急医療機関への搬送までに要した時間は、基準年の令和3年が36.5分（全国8位）、直近の令和4年が36.4分（全国3位）に上昇している。

	沖縄県	全国 1 位	全国（平均値）
平成27年	31.9分	30.2分 (福岡県)	39.4分
平成28年	31.9分 (3位)	30.2分 (富山県)	39.3分
平成29年	31.9分 (3位)	30.5分 (富山県)	39.3分
平成30年	32.3分 (4位)	31.2分 (富山県)	39.5分
令和元年	32.7分 (4位)	31.0分 (富山県)	39.5分
令和2年	33.3分 (5位)	32.2分 (富山県)	40.6分
令和3年	36.5分 (8位)	34.3分 (富山県)	42.8分
令和4年	36.4分 (3位)	34.8分 (富山県)	47.2分

# 1 適切な病院前救護活動が可能な体制の整備 中間アウトカム②

心肺停止患者全搬送人員のうち一般市民により除細動が実施された件数は悪化したが、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合は、基準年（令和3年）から改善している。

## 指標2：心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
沖縄県（件）	51	47	54	61	41	24	19
全国（平均値）	41.9	44.7	42.9	46.1	38.1	36.6	41.9
順位	13	16	8	10	12	17	27

## 指標3：一般市民が目撃した心原性心肺機能停止者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
沖縄県（%）	66.3	61.0	71.4	74.0	74.9	68.9	73.3
全国（平均値）	56.1	56.6	58.1	57.9	58.1	57.5	59.2
順位	5	15	3	1	1	2	2

## 5. 初期救急医療体制の整備

指標: #8000の利用件数

- 小児救急の適切な受診を啓発し、小児救急医療機関の負担軽減を図ることを目的に、平成22年7月から、小児患者の保護者向けの電話相談窓口として小児救急電話相談事業（#8000）を実施している。
- 看護師及び薬剤師が相談に対応している。看護師が対応できない相談に備え、医師がバックアップにつく。病気の診断や治療を行うものではなく、小児の急な病気への対応方法・経過観察のポイント等の助言をおこなっている。
- 委託先
  - 1 沖縄県医師会（毎日19時～23時まで）
  - 2 ティーパック株式会社（平日 23時～翌日8時まで）  
（土日・祝日・年末年始 24時間対応）

年度	相談件数	相談実施日数	一日平均相談件数
令和元年度	18,434件	365日	50件
令和2年度	14,334件	365日	39件
令和3年度	15,507件	365日	42件
令和4年度	22,609件	365日	62件
令和5年度	23,698件	366日	64件

## 6.入院を要する救急医療体制の整備

指標: 二次救急医療機関の数

### 【現状】

- 令和5年度の二次救急医療機関数は27病院
- 令和6年度に翔南病院及びメディカルプラザ大道中央病院を指定し2増、琉球大学病院が救命救急センターに指定されたことで1減、となっており現在28病院となっている。

二次救急医療機関数(27病院)※令和6年3月31日時点	
北部圏域 (2病院)	県立北部病院、北部地区医師会病院
中部圏域 (5病院)	中部徳洲会病院、ハートライフ病院、中頭病院、宜野湾記念病院、沖縄病院
南部圏域 (16病院)	沖縄赤十字病院、那覇市立病院、大浜第一病院、牧港中央病院、公立久米島病院、沖縄協同病院 琉球大学病院、豊見城中央病院、南部徳洲会病院、沖縄第一病院、友愛医療センター、 与那原中央病院、おもろまちメディカルセンター、オリブ山病院、大道中央病院、那覇ゆい病院
宮古圏域 (2病院)	県立宮古病院、宮古島徳洲会病院
八重山圏域 (2病院)	県立八重山病院、石垣島徳洲会病院

## 2 重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制の整備 個別施策③

### 【参考】二次救急医療機関の年間救急受入人数

	病 院 名	救急患者数	消防救急車受入数
		(R4)	
1	沖縄県立北部病院	20,381	3,533
2	北部地区医師会病院	6,672	2,891
3	中部徳洲会病院	28,160	6,472
4	ハートライフ病院	11,750	3,964
5	中頭病院	32,244	7,765
6	宜野湾記念病院	24,567	52
7	沖縄病院	268	3,164
8	沖縄赤十字病院	9,830	152
9	那覇市立病院	23,446	4,510
10	大浜第一病院	11,887	3,241
11	牧港中央病院	2,789	415
12	公立久米島病院	2,392	314
13	沖縄協同病院	21,107	3,877
14	琉球大学病院	8,502	2,509
15	豊見城中央病院	5,437	176

	病 院 名	救急患者数	消防救急車受入数
		(R4)	
16	南部徳洲会病院	15,119	4,746
17	沖縄第一病院	69	52
18	友愛医療センター	13,586	5,400
19	与那原中央病院	1,833	218
20	おもろまちメディカルセン	134	0
21	オリブ山病院	6	5
22	大道中央病院	48	48
23	沖縄県立宮古病院	15,299	2,791
24	宮古島徳洲会病院	2,127	823
25	沖縄県立八重山病院	17,997	0
26	石垣島徳洲会病院	336	0

※令和5年度救急医療提供体制の現況調べより

### 7.救命救急医療体制の整備

#### 指標1:救命救急センターの数

- 救命救急センターは令和5年度時点では3つ（県立中部病院、県立南部医療センター・こども医療センター、浦添総合病院）だったが、琉球大学病院の西普天間への移転に伴い、令和7年1月に救命救急センターに指定され4つとなった。琉球大学病院は、今後、高度救命救急センターの指定に向けて取り組むこととしている。

#### 指標2:救命救急センターの充実度評価S及びAの割合

- 令和5年度に実施した救命救急センター充実度段階評価について、浦添総合病院、県立中部病院、南部医療センター・こども医療センターがA評価を受けている。

※「救命救急センター充実度評価」とは、救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として診療体制や患者受入実績等に関する報告に基づき、点数化し、各施設の充実段階をS, A, B, Cに区分したものである。（平成30年度以前はA, B, Cの3段階評価）

### 8.精神科救急医療体制との連携

#### 指標:精神科救急医療体制との連絡会議の開催数

- 沖縄県保健医療介護部地域保健課が所管する「精神科救急医療体制連絡調整委員会」が年に1回程度開催されており、救急病院の抱える精神科救急患者の課題等について連携を図っている。

## 指標: 救急病院数

### 【現状】

- 令和5年度の救急病院数は30病院
- 令和6年度に翔南病院及びメディカルプラザ大道中央病院を指定し2増となっており現在32病院となっている。

救急告示数(30病院)※令和6年3月31日時点	
北部圏域 (2病院)	県立北部病院、北部地区医師会病院
中部圏域 (6病院)	県立中部病院、中部徳洲会病院、ハートライフ病院、中頭病院、宜野湾記念病院、沖縄病院
南部圏域 (18病院)	沖縄赤十字病院、那覇市立病院、大浜第一病院、浦添総合病院、牧港中央病院、公立久米島病院、 沖縄協同病院、琉球大学病院、南部医療センター・こども医療センター、豊見城中央病院、南部徳洲会病院、 沖縄第一病院、友愛医療センター、与那原中央病院、おもろまちメディカルセンター、オリブ山病院、 大道中央病院、那覇ゆい病院
宮古圏域 (2病院)	県立宮古病院、宮古島徳洲会病院
八重山圏域 (2病院)	県立八重山病院、石垣島徳洲会病院

# 3 地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割の検討 個別施策①

## 9. 救急医療機関から急性期を脱した患者を適切な医療機関等に転院できる体制の整備

指標：退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの割合

- 院内外の連携を推進し、転院及び転棟の調整を行う者が平日の日勤帯に**常時**勤務している救命救急センターは2件、救命救急センター**専任**として配置している救命救急センターは1件。

## 10. 地域包括ケアシステムと救急医療の連携の推進

## 11. 居宅・介護施設の高齢者への対応及び普及啓発

指標：地域包括ケアシステムの関係者との連絡会議の実施市町村数

指標：居宅・介護施設の高齢者への対応に関する研修会の実施市町村数

- 地域包括ケアに係る取組については、宮古・八重山圏域を除く市町村は各地区医師会に委託して実施している。
- 保健医療介護部地域包括ケア推進課の地域包括ケアシステム推進会議には医師等も参画しており、入退院時連携及び看取りへの対応等、取組の検討を行っている。

指標	現状	目標	目標値の考え方	データ出典	取組の主体
地域包括ケアシステムとの連絡会議の実施市町村数	R5 38市町村	41市町村	全ての市町村での実施を目標とする	県医療政策課	県、市町村、医師会、医療機関、介護施設等
居宅・介護施設の高齢者への対応に関する研修会の実施市町村数	R5 39市町村	41市町村	全ての市町村での実施を目標とする	県医療政策課	県、市町村、医師会、医療機関、介護施設等

### 3 地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割の検討 個別施策②

参考: 地域包括ケアシステムの関係者との連絡会議の実施数

年度	北部	中部	浦添	那覇	南部	宮古島市	石垣市	多良間村	竹富町	与那国町
R5	1	6	1	10	8	2	0	12	0	0
R6 (予定)	6	6	2	16	5	2	0	12	0	0

- 令和5年度は、38市町村において30回実施された。
- 令和6年度は、38市町村において49回実施（予定含む）。

参考: 居宅・介護施設の高齢者への対応に関する研修会の実施数

年度	北部	中部	浦添	那覇	南部	宮古島市	石垣市	多良間村	竹富町	与那国町
R5	1	6	1	10	8	0	0	1	0	0
R6 (予定)	6	6	2	16	5	0	1	0	0	0

- 令和5年度は、39市町村において27回実施された。
- 令和6年度は、39市町村において36回実施（予定含む）。

# 3 地域包括ケアシステムにおける救急医療の役割の検討 中間アウトカム

指標：緊急入院患者における転院調整・支援の実施件数(レセプト件数)

## ➤ 転院調整・支援の実施件数

地域包括ケアシステムの推進により、令和3年度（基準年）と比べると令和4年度は164件の増加となっており、年々増加している。

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R3→R4	
							増減	比
北部	101	167	236	261	205	742	537	362%
中部	778	1,184	1,436	2,094	2,912	3,980	1,068	137%
南部	1,326	2,132	4,127	5,987	7,447	8,815	1,368	118%
宮古	150	182	233	269	694	515	-179	74%
八重山	115	47	52	252	554	718	164	130%
沖縄県計	2,470	3,712	6,084	8,863	11,812	14,770	2,958	125%

# 目指す姿（分野（最終）アウトカム）

## 救命できる傷病者を社会復帰させている

指標：一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の一か月後の生存率及び社会復帰率

- 生存率は、令和4年（H25～R4集計）で18.3%となっており、基準年である令和3年18.2%（H24～R3集計）と比較して改善したが、目標値（19.9%）まで1.6ポイント差となっている
- 社会復帰率は、令和4年（H25～R4集計）で11.6%となっており、基準年である令和3年11.3%（H24～R3集計）と比較し改善しているが、目標値（12.6%）まで1.3ポイント差となっている

救命できる傷病者を社会復帰させている		指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
指標	過去10年間の推移	H24～R3集計値	H23～R2集計値	H24～R3集計値	H25～R4集計値			(R11)
	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の一ヶ月後の生存率及び社会復帰率	(生存率)	18.2%	18.2%	18.2%	18.3%		19.9%
	(社会復帰率)	11.3%	11.5%	11.3%	11.6%	12.6%		